

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
大分県	12	3	9	70.5	5	有	5	<p>評価対象9地区のうち、5地区が達成率が100%を下回った。要因としては、高温による収量減少や販売単価の低迷により、目標達成に至らなかった。今後も引き続き、関係機関と連携し、面積拡大や販路開拓等を促し、販売額の増加を図る。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し70.5%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、大分県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、5地区である。</p> <p><参考:評価対象地区の概要> 【野菜】(4地区) 令和3年度の評価対象の4地区のうち、目標達成している地区は1地区、未達成が3地区となっている。販売額増加の目標が未達成となった3地区の主な要因は、2地区(いちご、キャベツ)は病害虫等による収量の減少、1地区(いちご)は、秋口の高温の影響から適期出荷が減少したことによる未達成である。</p> <p>【麦・大豆】(4地区) 令和3年度の評価対象の4地区のうち、目標達成している地区は3地区、未達成が1地区となっている。販売額増加の目標が未達成となった1地区は、昨年に比べ単収は向上したものの目標までには達しなかった。</p> <p>【かんしょ】 令和3年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。販売額増加の目標が未達成となった1地区は、8月の長雨による病害発生や日照不足による単収の減少による未達成である。</p>